

校長通信 (教職員版) 第10号 R1. 8. 27

未来のマナビフェス 2019 に参加してきました！

【1】はじめに

8月20日、21日に東京の東京工科大学で開催された実行委員会&河合塾主催の「未来のマナビフェス 2019」に参加してきました。今年で2回目の開催です。桐蔭学園理事長の溝上教授が実行委員長を務め、私もこの7月に調査協力の依頼を受けた立教大学の中原教授が副委員長を務めています。この「未来のマナビフェス」は、高校—大学—社会のトランジションを意識し、高校教員、大学教員、企業人、行政、NGO等の人たちが集い、共に学びあい、異業種間の交流を行うフォーラムです。2日間、かなり「濃い内容」ですので、頭の中は情報が溢れかえってなかなか整理ができない状態です。まずは、どんな「マナビフェス」だったのかを紹介しながら、仕入れてきたものを還元したいと思います。

【2】二日間のプログラム

最初に、二日間のプログラムを紹介します。どんな内容でどのような人が登壇しているかに注目してください。近畿地区では京都の大学コンソーシアムが積極的に開催していますが、大阪では、このようなフォーラムはほとんどありません。「大阪の外」では、こんなことに熱心に取り組んでいるという視点で見てほしいと思います。全国から950名の関係者が集まった「マナビフェス」です。

=1日目=

[オープニングセッション] 10:00~11:30

「みんなではぐくむ学びの未来」 登壇者 溝上 慎一(桐蔭学園理事長 トランジションセンター所長・教授)

(→ポイントは、1990年代バブル崩壊までは、前期近代で「アウトサイドイン(適応)の力学」が働き、社会の制度に自分を合わせる事が求められたが、バブル崩壊以降は、後期近代で、「インサイドアウト(自己形成)の力学」が働き、個の資質・能力の育成が焦点化されてくるという点でした。)

[セッションA] 12:30~14:00

[A-1]

授業改善を軸にした学校づくり~PDCAサイクルから探究する組織~

登壇者 石井 英真 (京都大学 准教授)

[A-2]

生徒や学生の成長を支えるリーダーシップ

登壇者 三浦 隆志(前 岡山県立林野高校 校長) 日向野 幹也(早稲田大学 教授)

菱山 諒(株式会社イノベスト) 曾我部 梨羅(株式会社イノベスト)

[A-3]

Student Agency ~生徒の主体性を育てるために~

登壇者 吉野 明 (鷗友学園女子中学高等学校 名誉校長)

前田 秀樹(高槻中学校・高等学校 教頭)

(→G20の時の研修に講師としてお願いした先生です。残念ながら実現しませんでした。)

佐野 和之(かえつ有明中・高等学校 副教頭)

[A-4]

新卒採用のフロンティア先進企業が描く「新卒採用の未来」

登壇者 田中 聡 (立教大学 経営学部助教、株式会社パーソル総合研究所フェロー)

木下 達夫(株式会社メルカリ執行役員CHRO(最高人材責任者))

源田 泰之(ソフトバンク株式会社 人事本部副本部長)

(→参加してきました。先進企業の人事採用の話で、二つの企業とも日本人・外国人関係なく同一の指標で人材を採用しています。特にメルカリは、エンジニアの50%近くは外国人です。だから、英語力は必須。また、メルカリは副業を推進。それが人材の多様性を育てている。副業をするような人は、ほかの企業にもヘッドハンティングされるような優秀な人材。「それでもメルカリで働くことに魅力を感じる会社にする」という社長の意気込みです。さらに、働き方改革を進め、男性社員の育休も積極的に取得。子どもが生まれた男性社員に積極的に育休の声掛けをしているということです。)

[ポスターセッション①] 14:30~15:30

全部で55のポスター発表者。双方向で意見交換できるので、かなり突っ込んだ情報が得られました。

[セッションB] 16:00~17:30

[B-1]

高校生の探究をデザインする～教育課程と社会が手をつなぐ未来の当たり前をめざして～

登壇者 今村 久美 (認定特定非営利活動法人カタリバ代表理事)

南郷 市兵 (福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校副校長)

[B-2]

大学での学びをデザインする～初年次教育からリカレント教育までのカリキュラムと教学マネジメント～

登壇者 森 朋子 (関西大学 教授)

(→布施高校の2年目の時に、ALの研修で講師に来てもらいました。ALの理論的基礎をしっかりと教えてくれます。)

[B-3]

主体的・対話的で深い学びの成果と学校改革

登壇者 真下 峯子 (大妻嵐山中学校・高等学校校長) 千々布 敏弥 (国立教育政策研究所 総括研究官)

(→参加してきましたが、期待外れでした。期待外れのセッションは、これが初めての体験)

[B-4]

これからの教員の働き方改革～横浜の事例を考える～

登壇者 辻 和洋 (武蔵野大学 非常勤講師)

町支 大祐 (帝京大学 講師)

=2日目=

[キーノートセッション] 9:15~10:45

見える化をきっかけとした学校づくり

登壇者 中原 淳 (立教大学 教授)

(→一番勉強になりました。かつ最高におもしろい！どこかで紹介したいと思います。)

[ポスターセッション②] 11:15~12:15

(→全部で58のポスター発表がありました。私も日本教育経営学会で発表した内容をもとに発表してきました。大阪から来た河南高校の若手二人が私のところに来て、熱心に聞いてくれていました。)

[セッションC]

[C-1]

人生100年時代のキャリアと働き方

登壇者 田中 聡 (立教大学 経営学部助教、株式会社パーソル総合研究所フェロー)

有沢 正人 (カゴメ株式会社 常務執行役員CHO (人事最高責任者))

川浦 恵 (経済産業省 経済産業政策局 産業人材政策室 室長補佐)

[C-2]

体験型授業におけるマナビをキャリア形成につなぐ

登壇者 児美川 孝一郎 (法政大学 教授)

淡河 由満子 (元 法政大学キャリアデザイン学部キャリアアドバイザー)

(→参加してきました。キャリアデザイン学部の一つの講座で、定時制の生徒を対象にワークショップを作成し、実際に実践するという事を1年かけて行う授業。その中で大学生がどのように成長したかの実践報告)

[C-3]

みんなが楽しく元気になる Happy Management～夢を思い描き、未来を切り開く子どもたちを育てるために～

登壇者 下町 壽男 (盛岡中央高等学校附属中学校 副校長) 松嶋 渉 (山口県教育庁 教育政策課管理主事)

齋藤 みずほ (キャリア・クエスト代表)

[C-4]

新たな高大連携への模索～古典文学のワークショップを通して～

登壇者 佐藤 透 (桐蔭学園 経営企画室長) 平野 多恵 (成蹊大学 教授) 吉野 朋美 (中央大学 教授)

[リフレクションセッション] 15:15～16:45

明日からはじめる「○○○」

登壇者 成田 秀夫 (大正大学 教授)

【3】セッション以外で得た情報

(1) 出展企業

出展企業もたくさんあり、その中でこれは役立つかもというものを資料として集めてきました。教材のサンプルも送ってくれるということなので、「見たい！」という人は、声をかけてください。

① JTB

JTBは、修学旅行担当の旅行会社とと思っている人が大多数だと思いますが、教育プログラムもたくさん開発提供しています。一部を紹介します。

[キャリア甲子園]

★キャリア教育プラットフォーム「MY FUTURE CAMPUS」の高校生向けプロジェクト。協賛企業から出題されたテーマを高校生は自由に選択し、チームを組んで企業からのお題に挑戦。審査はテーマ企業毎に行われ、最終的に各企業が選んだ企業代表チーム同士が決勝戦を競い合う。2018年度参加人数4318人

[修学旅行探求ノート]

★旅行行事を“探究的な学び”にする学習教材。東京学芸大学森本教授と共同開発。2019年3月より販売

★今までの修学旅行は、

- ・インターネットやガイドブックで調べるだけの事前学習
- ・計画通りに見学地を見て回るだけの班別行動

これではもったいないので、修学旅行を探究的な学びの場に変えるために開発された教材。旅行前1章～4章、旅行中5章 旅行後6章～9章でなりたつワークブック。

[CAS-DRP] (Career Axis Support Drama Role Play)

★日テレと JTB がコラボして開発した新商品。パンフレットの謳い文句には次のように書かれています。

「CAS-DRP は、ふつうのキャリア教育ではありません。日テレがもつ番組作りのノウハウとポジティブサイコロジー、コーチング理論をベースにした、オリジナル映像+ワークショップで構成された教材に、独自のキャリア教育プログラム・CAS を運営していた JTB の知見を合わせ誕生しました。社会人を疑似体験し、語り合い、褒め合いながらチームで協力して取り組むことで、生徒は「自信のタネ」となる成功体験を積み、成長します。」

[2030 SDGs ワークショップ]

★SDGs を題材に、探究学習を行うプログラム。3つのワークショップ

ワークショップ①90分「2030 SDGs カードゲーム&SDGsの本質を知ろう」(→今後研修で行います)

ワークショップ②50分「オリジナルプロジェクトカードを作成しよう」

ワークショップ③50分「実際にSDGsに取り組んでいる企業から学ぼう」

[SDGs+大学選び]

上記の2030 SDGsの次にくるプログラム。SDGsに取り組む大学の話から、学問領域を理解し、大学選びのステップへとつなげていく。

②啓林館

啓林館は課題研究に特化した教材を紹介していました。GLHSも採用しているとか…。以下は、パンフレットの謳い文句です。サンプルをお願いしました。

[課題研究メソッド Start Book～探究活動の土台作りのために～]

★「研究テーマの見つけ方」「問いの立て方」など、課題研究の土台部分を丁寧に学べる

文系・理系の課題研究に対応、トレーニング編、実践編の2部構成、解説+ワークシートの見開き形式

[課題研究メソッド～よりよい探究活動のために～]

★文系・理系の探究研究に対応。課題発見～研究発表までの流れを、段階的に解説し、理解を促す構成

課題研究に取り組む意義や概要、研究手法を系統的にわかりやすく解説

[課題研究ノート]

★「課題研究メソッド」に準拠したワークシート集。課題研究のポートフォリオとして、大学の推薦・AO入試対策に。

③トモノカイ

トモノカイは、探究活動をサポートする教材を提供していました。全部で3部構成です。サンプルを送ってくれと頼みました。以下は、パンフレットの謳い文句。

[思考の手引き～整理・分析編～]

★考える力の筋トレと題し、探究の実践を支える『基礎力』の土台を作ります。考えを深める上で必要な基礎スキルを体系的に整理。演習問題形式をそのまま授業に使えます。

[実践の手引き～基礎編～]

★探究の練習試合と題し、探究活動を小さく実践しながら、コツを学びます。i)調査報告 ii)論証×レポート iii)解決提案×プレゼンの3パターンの探究活動を実践していくことで、探究の流れの基礎固めを行います。

[実践の手引き～応用・論文サポート編～]

★探究の本番と題し、論文制作に特化して、問い作りからの流れをサポートします。自ら興味関心のあるテーマで、問いを立てて研究へ。ワークブック形式で、文系の論文制作のプロセスをサポートします。

(2) ポスターセッションで知った企業

①「SDGs×問題解決=MoG」

MoGとは、「Mission on the Ground」の略。キャッチフレーズは、

「世界を見に行くんじゃない。変えに行くんだ」

実際にアジアの各国で現地ワークに取り組む。滞在は約10日間。SDGsに関係する各国・各地域の課題の解決に向け、自分の頭で考えて行動する企画。そのために、約2か月間問題解決トレーニングを行う。内容は、論理的思考やクリティカルシンキング、課題発見、発想法、マーケティングなどのトレーニングを行う。どんな内容かわかりにくいので、例を紹介します。2015年冬にインドネシアプロジェクトに参加した東京都私立高校2年(当時)白井君の例。彼と彼の保護者のコメントを紹介します。

白井君本人

「2か月間のトレーニングの後、インドネシアのチサロバ村に行きました。衝撃だったのは、村の至る所にあるゴミの山。そんな中、意外なことにゴミ箱はいろんな所に設置されていたのです。人間は、単に設備が整っていても思った通りに動いてくれないことに気が付きました。ポイ捨てをする子供たちの感情を分析して作り出したのが「思わず遊びたくなるバスケットボール型ゴミ箱」。成果も嬉しかったですが、それ以上に世界にはどんな問題があり、自分の力を何に使いたいのかがすごくはっきりして、大学の学部など進路の最も大きな決め手になりました。

保護者の声

「大学受験がゴールではなく、その先を見据えて受験勉強をするようになってくれました。将来、海外で活動していく事になるのが当然の事のようにとらえていて、本当に文字通り視野が広がりました。教室の中、学校の中、日本の中ではきっと手に入れることができなかった広い視野を持って、目的をもって高校生活を送ってくれているのがうれしいです。」

白井君の考案したバスケットボール型ゴミ箱は、現在200台インドネシアの各地に設置されているということです。その後の白井君は、上智大学理工学部で推薦入試で合格しました。このプロジェクトに参加した生徒の95%が推薦入試で大学に進学しているというデータがあります。

費用は、約30万～35万。教員の付き添いはありません。約2か月間、学校の教室を提供してトレーニングを実施しますが、講師は、すべて派遣されます。実施校は、関西では近大付属高校、箕面自由学園高校、常翔学園高校、雲雀丘学園高校、京都橘高校、奈良育英高校等の名前が挙がっています。

【4】終わりに

大変濃密な2日間でした。頭の中に「これでもか!」というほど情報が入り、思考し、参加者とともに考え、頭をフル回転させてきました。そのうえ、二日目にはポスターセッションで発表してきたので、正直疲れました。近々、中原淳教授が資料提供してくれた「カモメになったペンギン」の話を紹介したいと思います。

資料に興味のある人は、声をかけてください。